

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織の専攻の設置

九州大学大学院医学系学府保健学専攻（博士後期課程）

## 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学  
平成21年5月1日現在

### 作成担当者

総務部法令審議室法規係

係員 安 達 淳 一 郎

電話番号 092 - 642 - 2108

(夜間) 092 - 642 - 2108

F A X 092 - 642 - 2113

e - mail syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp

### 医系学部等総務課

総務第二係長 湯 村 俊 二

電話番号 092 - 642 - 6676

F A X 092 - 642 - 6239

e - mail ijssomu2@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可申請時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 . . . 」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「 大学 」
- ・学部の設置の場合：「 大学 学部 」
- ・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科 」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科 」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科 」
- ・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科 (通信教育課程) 」

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	施設・設備の整備状況，経費	6
4	既設大学等の状況	7
5	教員組織の状況	14
6	留意事項に対する履行状況等	19
7	その他全般的事項	20

# 大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人九州大学

### (2) 大学名

九州大学大学院

### (3) 大学の位置

〒812-8581  
福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1号  
(〒812-8582  
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号)

### (4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	(ア리카ワ セツオ) 有川節夫 (平成20年10月1日)		
学府長		(タカヤナギ リョウイチ) 高柳涼一 (平成21年4月1日)	学府長に就任 平成21年4月1日 (21)

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 (19)

平成21年度に報告する内容 (21)

「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成18年度開設の場合（平成21年度までの4年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院医学系学府 保健学専攻（博士後期課程） （博士（保健学）、博士（看護学））	3年	10人	30人	基礎となる学部名等 医学部保健学科

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成21年度	平均入学定員超過率	備 考
A	入学定員	( - ) 10人	1.10倍	
	志願者数	( 17 ) 19		
	受験者数	( 17 ) 19		
	合格者数	( 9 ) 11		
B	入学者数	( 10 ) 11		
	入学定員超過率 B / A	( - ) 1.10		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成21年度	備 考
1年次		[ 0 ] 11	
2年次		[ ]	
3年次		[ ]	
計		[ ]	

- (注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。

( 5 ) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 ( a )	入学者数 ( b )	入学者に対する 退学者数の割合 ( a / b )
平成 2 1 年度	計 [ - ] 0	計 [ - ] 11	[ - % ] 0 %
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 11人	
	( 主な退学理由 )		

(注) 1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(例) 今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18,19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

## 2 授業科目の概要

< 医学系学府保健学専攻（博士後期課程） >

### （1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	ヘルスサイエンス論	1前	2				5	1				兼1 メディア
	医療英語	1前	2									
専門科目	看護教育方法開発学Ⅰ(講義)	1前		2			1 2	1				原田広枝教授就任辞退のため、平成21年度は未開講。同教授の担当部分は以下の教員が担当する。(21) [担当 大池美也子(教授) 平成21年6月 変更書提出予定]
	看護教育方法開発学Ⅱ(演習)	1後		2			2 3	1			原田広枝教授就任辞退のため、同教授の担当部分は以下の教員が担当する。(21) [担当 大池美也子(教授) 北原悦子(教授) 平成21年6月 変更書提出予定]	
	健康支援ケアシステム論Ⅰ(講義)	1前		2			4					
	健康支援ケアシステム論Ⅱ(演習)	1後		2			5 6					
	母子発達ケアシステム論Ⅰ(講義)	1前		2			1	2				坂井修二准教授退職。後任未定(21)  坂井修二准教授退職のため、同准教授の担当部分は以下の教員が担当する。(21) [担当 佐々木雅之(教授) 平成21年6月 変更書提出予定]
	母子発達ケアシステム論Ⅱ(演習)	1後		2			1	3				
	地域生活ケアシステム論Ⅰ(講義)	1前		2			2					
	地域生活ケアシステム論Ⅱ(演習)	1後		2			2					
	量子線理工学Ⅰ(講義)	1前		2			2	2				
	量子線理工学Ⅱ(演習)	1後		2			2	2				
	臨床量子線科学Ⅰ(講義)	1前		2			3	1 2				
	臨床量子線科学Ⅱ(演習)	1後		2			3	1 2				
	生体情報解析学Ⅰ(講義)	1前		2			3	2				
	生体情報解析学Ⅱ(演習)	1後		2			3	2				
病態情報解析学Ⅰ(講義)	1前		2			6	1					
病態情報解析学Ⅱ(演習)	1後		2			5	1					
特別研究	保健学特別研究	1・2・3通	6				17				実験・実習	

### （2）授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	16		19	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	看護教育方法開発学Ⅰ(講義)	2	1前	専門	選択	原田広枝教授が就任辞退のため未開講とした。同教授の担当部分は、大池美也子教授が平成21年7月の教員審査を受け、承認を得た上で平成22年度から担当する。(21)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「看護教育方法開発学（講義）」はオムニバス方式の講義であり、当初、大池美也子教授、原田広枝教授、長家智子准教授の3人で5回ずつ計15回の講義を行い、原田教授は6回目から10回目までを担当することとなっていたが、原田教授の就任辞退に伴い、平成21年度は未開講とするものである。原田教授担当予定の5回分については、大池教授が平成21年7月の教員審査を受け、承認を得た上で担当する。  
 なお、平成21年度は、同科目への学生の履修希望はなかった。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.05$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。  
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況，経費

(馬出地区キャンパス)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	195,787 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	195,787 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	9,838 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	9,838 m <sup>2</sup>			
	小 計	205,625 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	205,625 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	88,043 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	88,043 m <sup>2</sup>			
	合 計	293,668 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	293,668 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	150,543 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	150,543 m <sup>2</sup>			
	(150,543 m <sup>2</sup> )	(0 m <sup>2</sup> )	(0 m <sup>2</sup> )	(0 m <sup>2</sup> )	(150,543 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	26 室	41 室	848 室	—— 室 (補助職員 一人)	—— 室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	医学系学府保健学専攻(博士後期課程)			33 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		(うち外国書)	(うち外国書)					(うち外国書)
	冊	種	点	点	点			
	医学系学府 保健学専攻 (博士後期課程)	348,716 [207,020] (348,716 [207,020])	12,347 [8,987] (12,347 [8,987])	43,056 [41,944] (43,056 [41,944])	58,149 (58,149)	65,431 (65,431)	80,234 (80,234)	
計	348,716 [207,020] (348,716 [207,020])	12,347 [8,987] (12,347 [8,987])	43,056 [41,944] (43,056 [41,944])	58,149 (58,149)	65,431 (65,431)	80,234 (80,234)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,216m <sup>2</sup>	197席		362,444冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,151m <sup>2</sup>	一般運動場		その他				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円
	共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		国費による						

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。  
 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。  
 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。  
 4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。  
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。  
 5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	平成12年度		
人文科学府									
人文基礎専攻									
修士課程	2	16		32	修士(文学)	0.43		福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 19番1号	
博士後期課程	3	8		24		0.66			
歴史空間論専攻					博士(文学)				
修士課程	2	20		40		0.52			
博士後期課程	3	10		30		0.40			
言語・文学専攻									
修士課程	2	20		40		0.92			
博士後期課程	3	10		30		0.93			
比較社会文化学府							平成12年度		
日本社会文化専攻					修士(比較社会)			福岡県福岡市 西区元岡 744番地	
修士課程	2	24		48	文化)	1.39			
博士後期課程	3	20		60	修士(理学)	1.06			
国際社会文化専攻					博士(比較社会)				
修士課程	2	26		52	文化)	0.69			
博士後期課程	3	20		60	博士(理学)	0.48			
人間環境学府							平成12年度		
都市共生デザイン専攻					修士(人間環境)			福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 19番1号	
修士課程	2	20		40	学)	1.05			
博士後期課程	3	5		17	修士(文学)	1.01			
人間共生システム専攻					修士(教育学)		"		
修士課程	2	11		22	修士(心理学)	0.99			
博士後期課程	3	9		27	修士(工学)	1.62			
行動システム専攻							"		
修士課程	2	17		34	博士(人間環境)	1.05			
博士後期課程	3	10		30	学)	1.03			
教育システム専攻					博士(文学)		平成17年度		
修士課程	2	19		38	博士(教育学)	1.02			
博士後期課程	3	9		27	博士(心理学)	0.73			
空間システム専攻					博士(工学)		平成12年度		
修士課程	2	28		56	(実践臨床心)	1.35			
博士後期課程	3	7		23	理学専攻は臨	0.36			
実践臨床心理学専攻					床心理士(専		平成17年度		
専門職学位課程	2	30		60	門職))	0.98			
法学府							平成12年度		
基礎法学専攻								福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 19番1号	
修士課程	2	12		24	修士(法学)	0.16			
博士後期課程	3	6		18		0.33			

公法・社会法学専攻					博士（法学）				
修士課程	2	10		20		0.75			
博士後期課程	3	5		15		0.53			
民刑事法学専攻									
修士課程	2	15		30		0.46			
博士後期課程	3	7		21		0.52			
国際関係法学専攻									
修士課程	2	16		22		0.43			
博士後期課程	3	4		12		0.33			
政治学専攻									
修士課程	2	7		14		0.64			
博士後期課程	3	3		9		0.55			
法務学府							平成16年度	福岡県福岡市	
実務法学専攻					法務博士（専門			東区箱崎6丁目	
専門職学位課程	3	100		300	職）	1.01		19番1号	
経済学府								福岡県福岡市	
経済工学専攻					修士（経済学）		平成12年度	東区箱崎6丁目	
修士課程	2	20		40		1.02		19番1号	
博士後期課程	3	10		30	博士（経済学）	0.76			
経済システム専攻							平成15年度		
修士課程	2	27		54	（産業マネジメ	0.86			
博士後期課程	3	14		42	ント専攻は経営	0.97			
産業マネジメント専攻									
修士課程	2	45		90	修士（専門職）		〃		
専門職学位課程	2				）	0.96			
理学府								福岡県福岡市	平成20年
物理学専攻							平成20年度	東区箱崎6丁目	度より学生
修士課程	2	41		82	修士（理学）	1.01		10番1号	募集停止
博士後期課程	3	14		28		0.57			（基礎粒子
化学専攻					博士（理学）				系科学専
修士課程	2	62		124		1.05			攻、分子科
博士後期課程	3	19		38		0.68			学専攻、凝
基礎粒子系科学専攻							平成12年度		縮系科学専
修士課程	2	-		-		-			攻、生物科
博士後期課程	3	-		-		-			学専攻）
分子科学専攻									
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
凝縮系科学専攻							平成12年度		
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
地球惑星科学専攻									
修士課程	2	41		82		0.94			
博士後期課程	3	14		44		0.70			
生物科学専攻									
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			

数理学府 数理学専攻 修士課程 博士後期課程	2 3	54 20		108 80	修士(数理学) 修士(技術数理学) 博士(数理学) 博士(機能数理学)	1.07 0.59	平成12年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号	
システム生命科学府 システム生命科学専攻 博士課程	5	54		222	修士(システム生命科学) 修士(理学) 修士(工学) 修士(情報科学) 博士(システム生命科学) 博士(理学) 博士(工学) 博士(情報科学)	1.43	平成15年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号	
医学系学府 医学専攻 博士課程 機能制御医学専攻 博士課程 生殖発達医学専攻 博士課程 病態医学専攻 博士課程 臓器機能医学専攻 博士課程 分子常態医学専攻 博士課程 環境社会医学専攻 博士課程 医科学専攻 修士課程 保健学専攻 修士課程 博士後期課程 医療経営・管理学専攻 専門職学位課程	4 4 4 4 4 4 4 2 2 3 2	107 - - - - - - 20 20 10 20		214 - - - - - - 40 40 10 40	修士(医科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 博士(医学) 博士(看護学) 博士(保健学)  (医療経営・管理 学専攻は医療 経営・管理学修 士(専門職))	1.15       1.15 1.05 1.10 1.02	平成20年度       平成15年度 平成19年度 平成21年度 平成13年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	平成20年度より学生募集停止(機能制御医学専攻、生殖発達医学専攻、病態医学専攻、臓器機能医学専攻、分子常態医学専攻、環境社会医学専攻)
歯学府 歯学専攻 博士課程	4	43		172	博士(歯学) 博士(臨床歯学) 博士(学術)	0.99	平成12年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	

薬学府							平成12年度	福岡県福岡市	
医療薬科学専攻								東区馬出3丁目	
修士課程	2	30		60	修士(薬学)	1.05		1番1号	
博士後期課程	3	14		42		0.85			
創薬科学専攻					博士(薬学)				
修士課程	2	25		50		1.52			
博士後期課程	3	12		36		0.83			
工学府							平成12年度	福岡県福岡市	
物質創造工学専攻								西区元岡	
修士課程	2	21		42	修士(工学)	2.11		744番地	
博士後期課程	3	10		30		1.10			
物質プロセス工学専攻					博士(工学)				
修士課程	2	19		38		1.78			
博士後期課程	3	9		27		0.77			
材料物性工学専攻									
修士課程	2	19		38		2.07			
博士後期課程	3	7		25		0.82			
化学システム工学専攻									
修士課程	2	21		42		1.85			
博士後期課程	3	10		30		0.70			
建設システム工学専攻									
修士課程	2	17		34		1.49			
博士後期課程	3	8		24		0.41			
都市環境システム工学専攻									
修士課程	2	19		38		1.65			
博士後期課程	3	8		26		0.68			
海洋システム工学専攻									
修士課程	2	17		34		1.55			
博士後期課程	3	8		24		0.70			
地球資源システム工学専攻									
修士課程	2	17		34		1.40			
博士後期課程	3	8		24		0.74			
エネルギー量子工学専攻									
修士課程	2	25		50		1.18			
博士後期課程	3	12		36		0.57			
機械科学専攻									
修士課程	2	37		74		1.53			
博士後期課程	3	15		49		0.76			
知能機械システム専攻									
修士課程	2	27		54		1.59			
博士後期課程	3	13		39		0.79			
航空宇宙工学専攻									
修士課程	2	26		52		1.19			
博士後期課程	3	12		38		0.77			

芸術工学府					修士(芸術工学)			福岡県福岡市	
芸術工学専攻					修士(デザイン)	1.15	平成15年度 (平成16年4 月学生受入)	南区塩原4丁目 9番1号	
修士課程	2	92		184					
博士後期課程	3	25		70	博士(芸術工学)	1.09			
デザインストラテジー専攻					博士(工学)				
修士課程	2	28		56		1.46	平成18年度		
博士後期課程	3	5		10		1.70	平成20年度		
システム情報科学府					修士(情報科学)	1.22	平成21年度	福岡県福岡市	平成21年 度より学生 募集停止 (情報理学 専攻、知能 システム学 専攻、情報 工学専攻、 電気電子シ ステム工学 専攻、電子 デバイス工 学専攻)
情報学専攻					)			西区元岡	
修士課程	2	40		40				744番地	
博士後期課程	3	14		14	修士(理学)	0.50			
情報知能工学専攻					修士(工学)		平成21年度		
修士課程	2	45		45	修士(学術)	1.33			
博士後期課程	3	15		15	博士(情報科学)	0.40			
電気電子工学専攻					)		平成21年度		
修士課程	2	55		55	博士(理学)	1.43			
博士後期課程	3	16		16	博士(工学)	0.25			
情報理学専攻					博士(学術)				
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
知能システム学専攻									
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
情報工学専攻									
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
電気電子システム工学専攻									
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
電子デバイス工学専攻									
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
総合理工学府							平成12年度	福岡県春日市	
量子プロセス理工学専攻					修士(理学)	1.66		春日公園6丁目 1番地	
修士課程	2	37		74					
博士後期課程	3	14		48	修士(工学)	0.53			
物質理工学専攻					修士(学術)				
修士課程	2	37		74		1.51			
博士後期課程	3	14		48		0.57			
先端エネルギー理工学専攻					博士(理学)				
修士課程	2	34		68	博士(工学)	1.12			
博士後期課程	3	12		44	博士(学術)	0.28			
環境エネルギー工学専攻									
修士課程	2	26		52		1.30			
博士後期課程	3	9		33		0.23			
大気海洋環境システム学専攻									
修士課程	2	30		60		0.78			
博士後期課程	3	11		39		0.17			

生物資源環境科学府 生物資源開発管理科学専攻						平成12年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号
修士課程	2	21		42	修士(農学)	0.80	
博士後期課程	3	10		30		0.50	
植物資源科学専攻					博士(農学)		
修士課程	2	27		54		1.01	
博士後期課程	3	13		39		0.53	
生物機能科学専攻							
修士課程	2	22		44		2.40	
博士後期課程	3	11		33		1.05	
動物資源科学専攻							
修士課程	2	19		38		1.10	
博士後期課程	3	9		27		0.55	
農業資源経済学専攻							
修士課程	2	10		20		1.10	
博士後期課程	3	5		15		0.93	
生産環境科学専攻							
修士課程	2	17		34		1.40	
博士後期課程	3	8		24		0.37	
森林資源科学専攻							
修士課程	2	31		62		1.09	
博士後期課程	3	15		45		0.70	
遺伝子資源工学専攻							
修士課程	2	14		28		2.06	
博士後期課程	3	6		18		0.55	
統合新領域学府 ユーザー感性学専攻					修士(感性学) 修士(芸術工学) 修士(工学)		平成21年度 福岡県福岡市 西区元岡 744番地
修士課程	2	30		30		1.23	
オートモーティブサイエンス専攻					修士(オートモーティブサイエンス)		
修士課程	2	21		21	修士(学術)	1.23	
博士後期課程	3	7		7	博士(オートモーティブサイエンス) 博士(工学) 博士(学術)	1.14	
文学部					学士(文学)		平成12年度 福岡県福岡市東区
人文学科	4	160		640	学士(学術)	1.03	箱崎6丁目19番1号
教育学部	4	50		200	学士(教育学) 学士(学術)	1.06	昭和24年度 福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号
法学部	4	200		800	学士(法学) 学士(学術)	1.03	昭和24年度 福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号
経済学部							福岡県福岡市東区
経済・経営学科	4	150	3年次 10	620	学士(経済学) 学士(学術)	1.06	平成12年度 東区箱崎6丁目 19番1号
経済工学科	4	90	3年次 10	380		1.11	昭和52年度

理学部								福岡県福岡市	
物理学科	4	59		236	学士（理学）	1.10	昭和24年度	東区箱崎6丁目	
化学科	4	67		268	学士（学術）	1.07	"	10番1号	
地球惑星科学科	4	48		192		1.05	平成2年度		
数学科	4	54	3年次	226		1.07	昭和24年度		
生物学科	4	49	5	196		1.09	"		
医学部					学士（医学）			福岡県福岡市	
医学科	6	105		605	学士（生命科学）	1.02	昭和24年度	東区馬出3丁目	
生命科学科	4	12		36	学士（看護学）	1.25	平成19年度	1番1号	
保健学科	4	137		555	学士（保健学）	1.05	平成14年度 (平成15年4月学生受入)		
					学士（学術）				
歯学部								福岡県福岡市	
歯学科	6	55	3年次	350	学士（歯学）	1.04	昭和42年度	東区馬出3丁目	
			5					1番1号	
薬学部					学士（創薬科学			福岡県福岡市	
創薬科学科	4	50		200	）	1.09	平成18年度	東区馬出3丁目	
臨床薬学科	6	30		120	学士（薬学）	1.06	"	1番1号	
					学士（学術）				
工学部								福岡県福岡市	
建築学科	4	60		240	学士（工学）	1.07	昭和29年度	西区元岡	
電気情報工学科	4	158		632	学士（学術）	1.07	平成8年度	744番地	
物質科学工学科	4	168		672		1.09	平成9年度		
地球環境工学科	4	150		600		1.03	平成10年度		
エネルギー科学科	4	99		396		1.06	"		
機械航空工学科	4	169		676		1.08	平成11年度		
芸術工学部							平成15年度	福岡県福岡市	
環境設計学科	4	38		152	学士（芸術工学	1.07		南区塩原4丁目	H16.4
工業設計学科	4	48		192	）	1.07		9番1号	学生受入
画像設計学科	4	38		152	学士（学術）	1.05			
音響設計学科	4	38		152		1.07			
芸術情報設計学科	4	40		160		1.06			
農学部					学士（農学）		平成10年度	福岡県福岡市東区	
生物資源環境学科	4	229		916	学士（学術）	1.04		箱崎6丁目10番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

（大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

2 認可申請書の様式第2号（その1）に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間（学年進行中の場合は、設置後経過した年数分）における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成 年度から学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時  (20年10月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

< 医学系学府保健学専攻（博士後期課程） >

### （1）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

### （2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p><b>実施体制</b></p> <p>a 委員会の設置状況 関係規程等を転載又は添付すること</p> <p>FD実行委員会を保健学部門副部門長、教務委員会副委員長、大学院委員会副委員長及び専任教授6名の計9名にて設置している。関係規定：別添1</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>年5～6回の委員会を開催する。毎回ほぼ全員の委員が参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1)FDにかかる企画・運営・実施および連絡調整に関すること            (2)授業にかかる教員のコミュニケーション能力の強化に関すること            (3)その他、FDに関すること</p> <p><b>実施状況</b> 実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <p>保健学専攻FD</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健学科における教育法の確立、特に望ましいカリキュラム開発能力の修得</li> <li>・学生による授業評価を基盤とした教育の質の向上</li> <li>・卒業研究の意義、目的およびその評価</li> <li>・進路決定にかかわる学生のニーズをいかに教育システムに反映するか</li> <li>・教育方法論-教育方法・教育環境・教育体制の改善に向けて-</li> <li>・新たな成績評価法Grade Point Average (GPA)による学生の学修の質の向上</li> <li>・保健学専攻における大学院教育</li> <li>・大学院教育の現状</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>本専攻に所属する教員が、大学院における教育目的、教育課程・内容・方法について共通の理解を深め、さらに教育内容の改善を図ることにより、教員の教育・研究指導能力の向上を図るために、FDを大学院教育の重要な取組みとして位置づけている。本専攻独自のFDを少なくとも年に1回実施し、専任教員全員の参加を義務づける。内容は、授業内容・教育技法の改善、カリキュラムの改善・開発、アカデミック・ハラスメント等への対策などとするが、具体的計画と実施については、本専攻に置くFD実行委員会にて、計画の検証と実施状況の点検を行う。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>保健学専攻として毎年1回開催するとともに、看護学分野においても毎年1回開催している。専任教員全員の参加を義務づけており、ほぼ全員が参加している。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>学生による授業評価の実施及び教育法改善のための利用について討議を行っており、カリキュラムが適切に実施され十分な教育効果を達成しているかどうかを検証するために、学生による授業評価を学期ごとに年2回実施している。評価様式は本専攻教務委員会にて定め、授業の最終日に無記名による筆記文書によって行う。評価結果は学期毎に冊子体として公表するとともに各教員へ通知している。これらの評価結果は、共通課題についてはFDで取り上げ、個別的課題については評価結果を各教員へ通知し、教育の質の向上への方策を明らかにするとともに、教育評価に基づく問題点および改善方法のうち学生に周知すべきと判断された項目については、ホームページ等により公表するとともに、改善点を次年度以降のシラバスおよび教育方法等に反映させている。</p>
--

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別添2のとおり)

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成25年3月1日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、看護・医療技術系大学(約60機関)、近隣病院(約50施設)、企業(約80社)および希望のあった学生に各1冊を配布
- ・医学系学府保健学専攻のホームページ上に公開予定(平成25年3月末を予定)

認証評価を受ける計画

- ・本学では、平成19年度に評価機関(大学評価・学位授与機構)の評価を受けている。
- ・次回は、平成25年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中である。

(4) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成21年7月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.shs.kyushu-u.ac.jp> )

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成21年7月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.shs.kyushu-u.ac.jp> )

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。  
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「 」及び「 」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。

「部門会議」に置く委員会内規

(趣旨)

第1条 この内規は、大学院医学研究院保健学部門、大学院医学系学府保健学専攻及び医学部保健学科会議運営内規第13条第1項に基づき、大学院医学研究院保健学部門会議（以下「部門会議」という。）に置く委員会の組織及び運営等について必要な事項を定める。

(委員会)

第2条 「部門会議」に置く委員会は、別表第1に定める。

(審議事項及び構成員等)

第3条 委員会の審議事項及び構成員等は、別表第1及び別表第2に定める。

(委員の任期)

第4条 委員会の委員の任期は、職指定者を除き原則として2年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き4年を超えて当該委員になることはできない。

2 前項の委員に欠員を生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長の選出方法は別表第1に定める。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、構成員（公務出張中の者、休職中及び停職中の者を除く。）の2分の1以上の出席により成立する。

2 委員会の議事は、出席した委員の有効投票数の過半数で決し、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は別表第1に定める。

2 部門会議、専攻会議及び学科会議の運営上、特に必要と判断される委員会においては議事要録を作成する。議事要旨を作成する委員会は別表第1に定める。

( 雑則 )

第 9 条 この内規に定めるもののほか、委員会において必要な事項は、別に定める。

2 この内規及び「部門会議」に置く委員会内規の運用について定めるもののほか、委員会において必要な事項は、それぞれの委員会で定める。

附 則

1 この規程は、平成 2 1 年 4 月 1 日から施行する。

2 九州大学医学研究院保健学部門運営委員会等規程(平成 1 9 年 4 月 1 8 日施行)は廃止する。

## 『「部門会議」に置く委員会内規 第 2 条、第 3 条、第 5 条、第 8 条関係』

NO	委員会名	審議事項	構成員	委員長	副委員長	担当 事務	議事 録	備 考
				選出方法				
1	総務委員会	部門、専攻及び学科に関する重要な案件で、 部門長が必要と判断する事項 他委員会の審議事項の内、当該委員会委員長 が、総務委員会による審議、調整等が必要と判 断した事項 その他、委員長が必要と判断する事項	部門長 ・副部門長 ・各分野長 ・看護学分野の教授 1 名 ・研究推進委員会委員長 ・地域・国際連携推進委員長 ・施設・環境委員会委員長 ・学生委員会委員長 ・教務委員会委員長 ・大学院委員会委員長 ・広報委員会委員長 ・部門長が必要と認めた者	職指定	委員長 指名	総務		
2	将来計画、点検・ 評価委員会	部門等の将来計画に関すること 組織の設置及び改廃に関すること 中期目標・中期計画及び年度計画の策定・評 価に関すること 自己点検・評価及び外部評価に関すること その他、将来計画及び点検・評価に関するこ と	部門長 ・副部門長 ・各分野長 ・各分野の教員各 2 名、ただし各 分野各 1 名は教授 ・研究推進委員会委員長 ・学生委員会委員長 ・教務委員会委員長 ・大学院委員会委員長 ・部門長が必要と認めた者	職指定	委員長 指名	総務		
3	研究推進委員会	研究情報の収集及び提供に関すること 部門における研究の将来構想に関すること 科学研究費等外部資金の獲得に関すること その他、研究推進に関すること	・副部門長 ・各分野長 ・看護学分野の教授 1 名 ・財務委員会委員長 ・学生委員会委員長 ・教務委員会委員長 ・大学院委員会委員長 ・部門長が必要と認めた者	部門長 指名	委員長 指名	学協		

4	人事委員会	教員人事の基本方針に関すること 教員の選考に関すること 教員の賞罰に関すること 臨地教授等の資格審査に関すること その他、教員人事に関すること	部門長 ・副部門長 ・各分野長 ・各分野の教授各 1 名 ・部門長が必要と認めた者	職指定	委員長 指名	総務		
5	再任審査委員会	教員の再任審査基準等に関すること 教員の再任審査に関すること	部門長 ・副部門長 ・各分野長 ・各分野の教授各 1 名及び、准教授、講師の内から各 1 名 ・部門長が必要と認めた者	職指定	委員長 指名	総務		
6	教員業績評価委員会	教員の業績評価基準等に関すること 教員の業績評価に関すること	部門長 ・副部門長 ・各分野長 ・各分野の教授各 1 名 ・部門長が必要と認めた者	職指定	委員長 指名	総務		
7	地域・国際連携推進委員会	学术交流に関すること 学生交流に関すること その他、地域・国際連携に関すること	・各分野の教員各 2 名、ただし各分野各 1 名は教授 ・委員会が必要と認めた者	前年度の副委員長	総務委員 会で選出	総務 学協 学務		
8	財務委員会	予算(案)の策定に関すること その他、財務に関すること	部門長 ・副部門長 ・各分野長 ・研究推進委員会委員長 ・地域・国際連携推進委員長 ・施設・環境委員会委員長 ・学生委員会委員長 ・教務委員会委員長 ・大学院委員会委員長 ・広報委員会委員長 ・部門長が必要と認めた者	職指定	施設・環境委員会 委員長	財務		
9	施設・環境委員会	施設・設備に関すること 環境に関すること その他、施設・環境に関すること	・各分野の教員各 2 名、ただし各分野各 1 名は教授 ・全学の環境保全委員 ・部門長が必要と認めた者	部門長 指名	委員長 指名	財務		

10	学生委員会	<p>学科学生の厚生補導、課外活動及び保健指導等に関すること</p> <p>学科学生の就職に関すること</p> <p>専攻学生の就職に関すること</p> <p>その他、学科の教務を除く事項に関すること</p> <p>学科学生の学籍異動に関すること</p> <p>専攻学生の学籍異動に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野の教員各 2 名、ただし各分野各 1 名は教授</li> <li>全学の学生関係委員</li> <li>委員会が必要と認めた者</li> </ul>	前年度の副委員長	総務委員会で選出	学務		
11	教務委員会	<p>学科の教育課程の編成に関すること</p> <p>学科の授業、試験、成績、進級及び卒業に関すること</p> <p>学科の非常勤講師、臨地教授等の選定等に関すること</p> <p>学生用図書の購入並びに医学分館との連絡・調整に関すること</p> <p>その他、学科の教務に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野の教授各 1 名及び、教授、准教授、講師の内から各 1 名</li> <li>全学の教務関係委員</li> <li>医学分館図書委員</li> <li>委員会が必要と認めた者</li> </ul>	前年度の副委員長	総務委員会で選出	学務		
12	大学院委員会	<p>専攻の教育課程の編成に関すること</p> <p>学科の授業、試験、成績及び修了に関すること</p> <p>専攻の学位論文の審査に関すること</p> <p>その他、専攻の教務に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野の教授各 2 名、ただし看護学分野は 3 名</li> <li>委員会が必要と認めた者</li> </ul>	前年度の副委員長	総務委員会で選出	学務		
13	入学試験実施委員会	<p>入学者選抜の企画・立案及び実施に関すること</p> <p>入学者選抜方法及び選考基準に関すること</p> <p>入試問題の作成及び採点に関すること</p> <p>その他、入学試験に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門長</li> <li>副部門長</li> <li>各分野長</li> <li>各分野の教授 1 名</li> <li>部門長が必要と認めた者</li> </ul>	前年度の副委員長	委員長指名	学務		
14	広報委員会	<p>広報誌に関すること</p> <p>ホームページに関すること</p> <p>公開講座に関すること</p> <p>その他、広報等に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野の教授各 1 名</li> <li>各分野の教授を除く教員各 2 名</li> <li>委員会が必要と認めた者</li> </ul>	前年度の副委員長	委員会で選出	総務		教授委員の任期等については、別に定める（「申合せ」）

15	放射線安全委員会	放射線障害の防止に関すること その他、放射線に関すること	部門長 ・放射線取扱主任者 ・放射線取扱副主任者 ・医用量子線科学分野の教員 4 名 ・医学研究院長 ・事務部長	職指定	委員長 指名	学協		
16	FD実行委員会	FDにかかる企画・運営・実施及び連絡調整に関すること 授業にかかる教員のコミュニケーション能力の強化に関すること その他、FDに関すること	副部門長 ・教務委員会副委員長 ・大学院委員会副委員長 ・各分野の教員各 2 名 ・委員会が必要と認めた者	教務副 大院副 教務副	大院副 教務副 大院副	学務		教務委員会副委員長と大学院委員会副委員長が交互に委員長、副委員長に就任
17	年報委員会	部門、専攻及び学科の情報収集に関すること 年報の発行に関すること その他、年報に関すること	副部門長 ・各分野の教員各 2 名 ・委員会が必要と認めた者	職指定	委員長 指名	総務		

委員会構成員一覧「部門会議」に置く委員会内規第3条関係」

NO	委員会名	部門長	副部門長	看護学分野				医用量子線科学分野				検査技術科学分野				その他の構成員(職指定)					
				分野長	教授	准教	講師	助教	分野長	教授	准教	講師	助教	分野長	教授		准教	講師	助教		
1	総務委員会		2		1												研究推進、地域・国際連携、施設・環境、学生、教務、大学院、広報各委員長				
2	将来計画、点検・評価委員会		1		1				1				1				研究推進、学生、教務、大学院各委員長				
3	研究推進委員会		1		1												財務、学生、教務、大学院各委員長 部門長指名				
4	人事委員会		2		1				1				1								
5	再任審査委員会		1		1				1				1								
6	教員業績評価委員会		1		1				1				1								
7	地域・国際連携推進委員会				1				1				1								
8	財務委員会		2														研究推進、地域・国際連携、施設・環境、学生、教務、大学院、広報各委員長				
9	施設・環境委員会				1				1				1				全学の環境保全委員				
10	学生委員会				1				1				1				全学の学生関係委員				
11	教務委員会				1				1				1				全学の教務関係委員 医学分館図書委員				
12	大学院委員会				3				2				2								
13	入学試験実施委員会		1		1				1				1								
14	広報委員会				1				1				1								
15	放射線安全委員会																放射線取扱主任者、副主任者、研究院長、事務部長				
16	FD 実行委員会		1														教務委員会副委員長、大学院委員会副委員長				
17	年報委員会		1																		
					2				2				2								
		部門長	副部門長	看護学分野				医用量子線科学分野				検査技術科学分野				当該委員会委員長(職指定) 当該委員会委員(職指定) 数字は、各分野から選出する委員の数					
		8	13	分野長	教授	准教	講師	助教	分野長	教授	准教	講師	助教	分野長	教授		准教	講師	助教		
					15	2				8	12	2			8		12	2			
						1						1						1			
						1						1						1			
						8						12					8				
				分野計	27				分野計	28				分野計	24						

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻博士後期課程は、平成 19 年 4 月に「保健学における創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する教育者・研究者の養成及び保健学分野における研究マインドをもった実践的指導者や組織リーダー」の養成を目的として設置された医学系学府保健学専攻修士課程を基盤とし、保健学領域における豊かな学識の滋養を基盤としつつ、自立した研究活動を行いうる能力を持つ教育者・研究者、高い教育・研究能力さらに看護・医療技術領域における実践能力を併せ持つ人材を養成することにより、保健学領域における学問体系の確立、新たな知的資源や科学領域の創出、わが国のみならず近隣のアジア諸国における保健学領域の教育研究上の拠点化、高度の研究能力と指導力を有する人材の輩出を目的としている。

第 1 回目となる平成 21 年度入学試験では、定員 10 名に対して 19 名が受験し、本専攻が目的とする人材育成に対する社会的ニーズが高いことが示された。入学者選抜においては、保健・医療・福祉を専門分野とし、修士課程において基礎的な研究能力を修得しており、将来、大学の教育者・研究者、医療機関における研究者、基幹病院の幹部職員、行政機関・国際機関の指導者、医療関連企業における研究者などの進路を指向する意欲のある人を優先して選抜した結果、11 名を合格とした。このうち社会人選抜枠には、17 名が受験し、10 名が合格した。

入学後、オリエンテーション、面談により指導教員を決定した。社会人学生の教育・研究については、実務を続けながら実施できるよう、インターネット、IT 教材、ビデオ授業などの活用を開始した。また、社会人学生を対象とした長期履修制度を 5 名の学生が選択した。

今後、定期的 F D、学生による授業評価、自己点検・評価により、教育研究の質の向上を図る予定である。